

第9回 重点方針専門調査会 議事要旨

(開催日時等)

- 1 日時 平成29年5月12日(金) 10:00~12:00
- 2 場所 合同庁舎8号館6階623会議室
- 3 出席者※肩書は開催当時
会長 佐藤 博樹 中央大学大学院戦略経営研究科教授
議員・委員 小山内 世喜子 男女共同参画地域みらいねっと代表理事
白河 桃子 少子化ジャーナリスト、作家、相模女子大学客員教授
鈴木 準 株式会社大和総研政策調査部長
種部 恭子 医療法人社団藤聖会女性クリニック We 富山院長
辻村 みよ子 明治大学法科大学院教授
堀江 敦子 スリール株式会社代表取締役
室伏 きみ子 お茶の水女子大学学長
横田 響子 株式会社コラボラボ(女性社長.net 企画運営) 代表取締役
渡辺 美代子 国立研究開発法人科学技術振興機構副理事

(議事次第)

- 1 開会
- 2 議事
(1) 男女共同参画・女性活躍の推進に向けた重点取組事項案について
- 3 閉会

(議事概要)

- 「各種国家資格における旧姓使用の状況について」事務局より説明を行うとともに、「男女共同参画・女性活躍の推進に向けた重点取組事項案」について、意見交換を行った。
- 意見交換後、修正について佐藤会長一任となり、5月下旬の男女共同参画会議において報告することとなった。

(委員等からの主な発言)

【各種国家資格における旧姓使用の状況について】

- ・旧姓の資格の免許証を使える資格もあるが、同じ資格でも結婚後に資格を取った場合は旧姓が使えないこともある。多様なキャリアプランが考えられるようになっていることを踏まえ、この点は問題意識を持っておいた方がよい。
- ・国家資格制度を含めた全体の旧姓使用の実態調査を行うことが必要。
- ・学術会議でも旧姓使用ができないことは問題。
- ・夫が妻の姓を選択した場合、大きな不都合が生じる場合も多い。この点も認識しておく必要がある。

【全体、前文】

- ・「施行後1年あまりが経過し・・・うねりとなっている」という部分は非常に良い。だからこそ「今後も、」という文言は削除した方が、次のステップに進む感じがあって良いのではないか。
- ・見える化という文言をカッコ付きの「見える化」で統一すると良いのではないか。
- ・最終的なゴールは男女平等、男女共同参画社会の形成であることを記載すると良いのではないか。
- ・女性活躍の推進は女性にとってだけでなく、生産性の向上等の面で全体にも資するものであることを入れると良いのではないか。

【I あらゆる分野における女性の活躍】

- ・「見える化」には、女性活躍の状況を表す情報と女性が活躍するために必要な基盤について情報の2つの要素があることを明記できるとよいのではないか。
- ・「見える化」は単なる情報開示ではなく、女性活躍の状況をわかってもらって現場が自主的に取り組んでいくことを含んでいる言葉である、という認識を広く共有することが重要。
- ・「見える化」の徹底の重要性に鑑み構成の修正（別立て等）の余地があるのではないか。
- ・女性活躍情報の見える化の徹底等の部分で、「労働時間」と並んで「労使協定の状況」等を入れられないか。
- ・「見える化」サイトの充実に加えて、広報活動という要素が抜けている。周知、更には若年層の学生等への教育という要素は重要であるので加えられないか。
- ・＜ライフイベントに対応した働き方の推進＞においては「男女共同参画センターとの連携・活用という視点」が重要。また、若年層への継続的な支援策（子育て前の離職の予防策）を加えられると効果的なものに繋がっていくのではないか。さらに、「介護」の要素が抜けているので記載すべき。
- ・テレワークは、育児等の制約のある女性だけに資するものでなく、生産性向上や、ワクバラの観点から性別・婚姻関係なく重要なものであり、＜ライフイベントに対応した働き方の推進＞に入っていると埋没してしまう。
- ・男性の暮らし方・意識の変革に当たっては、若年層に対する意識改革も重要
- ・男性の配偶者の出産休暇の部分に、わかりやすい「男性産休」等の文言を入れるといいのではないか。また、休暇の意義として「男女ともに育児をスタートするための移行期間として」といった文言を入れるといいのではないか。
- ・男性の育児休業取得の「見える化」を何のためにやるのかきちんと記載すべきではないか。
- ・＜企業における女性の参画拡大に資する環境整備＞について、もう少し厚く書けないか。また、中途採用も含めて女性役員を増やすべきと書けると良いのではないか。
- ・女性の起業支援について、ネットワークの形成は非常に重要なので、具体化して書けないか。起業を経験した人たち、団体、更には経産省との連携が大事。また、創業時の支援だけでなく、創業後の事業継続のための支援も重要。
- ・＜理工系を始めとする科学技術・学術分野における女性活躍＞について、「研究と生活の両立」は、研究だけに特化しているように見えるが、教育・人材育成も重要。
- ・男女共同参画の視点からの防災・復興の推進の取組を恒久的なものにするためにも、今後も女性を始めとする多様な生活者の意見を後押しする抜本的な改革、平時における継続的な取組を進めてほしい。

【Ⅱ 女性の活躍を支える安全・安心な暮らしの実現】

- ・ <ひとり親家庭等への支援>について、女性たちが若いころに非常に貧困に陥って、それが連鎖となって、様々な面で問題が起こっているという現状がある。
- ・ <女性の健康増進に向けた取組>部分について、内容が抽象的に過ぎて、具体的に何をやるのかわからない。女性活躍取組のパッケージとして、「見える化」の指標に入れる等検討ができないか。企業における数値化は非常に重要。また、性差により治療方針も異なることを踏まえ、女性に特化した治療について触れてはどうか。

【Ⅲ 女性活躍のための基盤整備】

- ・ <女性が働きやすい制度等への見直し>部分の「制度」について、もう少し具体的に基本計画をベースに書き下した方が良いのではないか。抽象度が高く、来年度何を重点的に取り組んでいくべきかわからない。政府内で合意できる範囲でも良いので具体的に書くべき。